

# 社協だより

No.27 平成30年 1月号



1月22日（水）、十和田市 市民交流プラザにおいて、上十三地域市町村社会福祉協議会連絡会を組織する上十三地域の9市町村社会福祉協議会が、災害時相互応援協定を締結しました。これは、管内で大規模な災害が発生し、被災した市町村の社会福祉協議会が独自の災害救援活動を十分に実施できない場合に、社協相互の応援を円滑に行うために締結したものです。

編集・発行

## 社会福祉法人 七戸町社会福祉協議会

〒039-2505 青森県上北郡七戸町字立野頭 139-1 ゆうずらんど内  
電話：0176-62-6790(代表) / FAX: 0176-62-3628  
メール: home@7shakyo.com / ウェブサイト: http://www.7shakyo.com/

七戸町社協

検索

「七戸町社協」で検索してね!!

- も ■新年ご挨拶・表彰・社協会費・共同募金…2
- く ■社会福祉大会・福祉作品コンクール結果…3
- じ ■ほのぼのネットワーク活動…4
- 地域福祉活動報告…5
- 寄附・職員募集・自立相談窓口…6

本誌についてのお問い合わせは、お気軽にどうぞ

# 新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。旧年中は、本会事業の推進に多大なるご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知のように近年、福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、一人暮らし高齢者の増加や認知症対策、老々介護等による生活困窮、社会的孤立化、少子高齢化の急速な進展や核家族化に伴う家庭・家族の介護力の低下など、様々な要因によりこれからの地域福祉の在り方が問われる時期となっております。

こうしたことへの対応にあたっては、公的な制度に基づくサービス・支援だけではなく、普段から地域の人たちと顔見知りの関係になり、互いに支え合う地域づくりなど、地域社会における支え合いの大切さを再度見つめ直さなくてはなりません。そのためにも地域住民の皆様と手を取り合い誰もが安心して暮らしていけるよう各関係団体等と連携して、更なる努力をしていくことが重要です。

本会といたしましては、今後も支援を要する方の早期の把握や、支えあい活動の充実を図り、更なる地域基盤の強化による、「誰もがその人らしく、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる住民主体による地域づくり」を目指し、皆様と共に取り組んで参る所存です。

結びに、本年も明るい地域社会実現のため、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、



今年一年が皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶と致します。

社会福祉法人

七戸町社会福祉協議会

会長 濱 中 幾治郎

# 社会福祉に功績のあった皆様が表彰されました

## 更なるご活躍をご期待申し上げます

【敬称略】

平成29年度青森県ふれあい活動功労者知事表彰  
厚生労働大臣表彰  
七戸町立天間東小学校  
【平成29年11月22日】

平成29年度社会福祉功労者  
厚生労働大臣表彰  
小島 義三  
【平成29年11月22日】

平成29年度青森県ふれあい活動功労者知事表彰  
【平成29年12月25日】

■表彰の部  
「グループ・団体等」

消防職員天間林出身者の会

平成29年度青森県共同募金会共同募金運動  
70周年記念特別感謝  
【平成29年11月29日】

【奉仕功労の部】

小島 義三

【多額寄付の部】

社会福祉法人 至誠会  
障がい者支援施設 一誠園

第67回上北郡社会福祉大会表彰  
【平成29年11月2日】

■表彰の部  
【民生委員児童委員】

築田 チヨエ

【民間社会福祉施設職員】

本間 圭 薫  
倉岡 圭 子  
菅提寺 誠子  
金見 千賀子

岡田 秀子 恵  
松尾 由美子

【社会福祉団体役員】

新館 なみゑ

【社会福祉協働者】

佐々木 由紀子

第10回七戸町社会福祉大会表彰  
【平成29年10月19日】

■表彰の部  
【民生委員児童委員】

築田 チヨエ

【民間社会福祉施設職員】

岡田 恵

【社会福祉団体役員等】

石田 和代 白木 清美  
石田 いくよ 古屋 敷シマ

【社会福祉協働者】

土井 俊一 二ツ森分館  
野左掛町内会

■感謝の部

【社会福祉協働者】  
日本基督教団七戸教会  
天間林舞踊愛好会  
てんまカラオケ愛好会  
けんしんよう柏葉会

# 社会福祉協議会会費・赤い羽根共同募金

## 地域福祉へ役立ってます

各町内会・常会の皆様のご協力によりまして、7月に社協会員毎戸加入運動、10月に赤い羽根共同募金運動を実施しました。

今年度も皆様のご厚意により、たくさんのご協力をいただきました。地域の皆様の深いご理解とご協力に、心から感謝申し上げます。皆様にご協力いただきました社協会費・共同募金は、福祉活動推進のため、活用させていただきますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成29年11月30日 現在

### 社会福祉協議会会費

	納入件数	納入額
合計	4,185件	4,176,900円

### 赤い羽根共同募金

区分	募金件数	募金額
合計	4,306件	2,920,837円
内訳	毎戸募金	2,498,650円
	法人募金	297,000円
	職域募金	99,313円
	学校募金	7,191円
	店頭等募金	18,683円



# 第10回七戸町社会福祉大会開催

この大会は、町の社会福祉の現状について学び、地域福祉の推進に功績のあった方々を顕彰し、住みよい町づくりを推進することを目的として毎年開催しているものです。今年も、去る10月19日(木)午後1時30分から、七戸町柏葉館でご来賓並びに町内会・分館・常会関係者、民生委員、一般参加者多数ご出席のもと、社会福祉に功績のあった七戸町社会福祉大会表彰7名・6団体の方並びに、平成29年度福祉作品コンクールの各部門最優秀賞4名の表彰を行いました。



社会福祉に功績のあった方を表彰いたしました



七戸町出身の講師(上泉和子氏)

式典後、七戸町出身で公立大学法人青森県立保健大学 学長 上泉和子氏による講演を行いました。講演では、「健やかに生きる」と題して、上泉氏自身が恩師から学んだ「人と繋がり分かち合うことの大切さ」や「生きるよろこび」についてのお話しをいただき、最後にはストレッチを行なうなど、充実した内容でした。会場からは、相づちを打つ様子も見られ、出席くださった方々からは「七戸町出身ということで親近感もあり、聞きやすかった。」「貴重な話しを聞いて良かったです。」などの声がありました。

## 平成29年度 福祉作品コンクール 入賞作品

～ たくさんのご応募ありがとうございました ～

福祉への関心を高めるため、児童生徒及び一般を対象に、今年度は、「しあわせ」をテーマに、川柳、写真を募集したところ、多数の応募があり、審査の結果、次のとおり入賞作品を決定いたしました。入賞作品は、広報や各種事業に活用させていただきます。【敬称略】

### 写真部門 ◆◆◆【応募数 14 作品】

#### 最優秀賞



「初めてのヤシの実ジュース」  
城南小4年 阿部 悠大

#### 優秀賞



「おいしいね。」  
城南小6年 工藤 琉奈



「弟とお母さん」  
七戸小4年 田中 楓太

#### 佳作



「こんにちは」一般 白田 裕



「夕口大好き」城南小6年 西野 空来



「青春謳歌」七戸高2年 中村 洋貴

### 川柳部門 ◆◆◆

■一般の部			■中学生の部		
佳作	優秀賞	最優秀賞	佳作	優秀賞	最優秀賞
ありがとうその一言が栄養剤	おはようのその一言で笑顔咲く	のんびりとあなたと歩む散歩道	吹く風が部活疲れをふきとばす	ありがとうその一言があたたかい	思いやり笑顔の花の種になる
橘百代	畑山満有	北村素乃佳	田頭佑修	石川愛美	手代森秀真
七戸高2年	七戸高2年	七戸高2年	天間林中1年	七戸中2年	天間林中2年
【応募数 176 作品】			【応募数 152 作品】		
■小学生の部			■小学生の部		
おもいやりみんなの笑顔つなぐ橋	ぼく来たよ祖父母の笑顔やさしいな	おこられるあいさつしているしよこだよ	あいがとうその一言で笑顔さく	あいがとうその一言で笑顔さく	あいがとうその一言で笑顔さく
田中杏怜	新山瑛大	小林拓仁	竹内心紋	工藤海音	田島生導
七戸小5年	天間東小6年	七戸小4年	七戸小5年	城南小5年	城南小6年
【応募数 195 作品】			【応募数 152 作品】		

### 審査委員 ◆◆◆

- 石川 柳 (しちのへ小総馬川柳吟社) [川柳]
- 田本 柳 (しちのへ小総馬川柳吟社) [川柳]
- 倉附 柳 (しちのへ小総馬川柳吟社) [川柳]
- 金見 真樹 (フォトしちのへ) [写真]
- 藤原 照雄 (本会副会長) [川柳・写真]
- 川村 リチエ (本会副会長) [川柳・写真]
- 正雄 (しちのへ小総馬川柳吟社) [川柳]
- フミ (しちのへ小総馬川柳吟社) [川柳]
- 岡京 (しちのへ小総馬川柳吟社) [川柳]
- 日出行 (フォトしちのへ) [写真]
- 真樹 (フォトしちのへ) [写真]
- 照雄 (本会副会長) [川柳・写真]
- リチエ (本会副会長) [川柳・写真]

# 「ほのぼののネットワーク活動」

地域ぐるみの見守りネットワーク活動

みんなが安心して暮らせる地域での支えあい

私たちが生活する地域では、一人暮らし高齢者を始めとして、様々な方々が暮らしています。「ほのぼのネットワーク活動」とは、地域に住む方々同士、支え合いの取り組みで、町内会・分館からご推薦いただいたボランティア「ほのぼの連絡員」、「ほのぼの交流協力員」の、ちよつとした気配りによる日常的な見守り活動です。

近くに住む方々を気にかけてもらい、「最近見かけないなあ?」、「様子が変わったけど大丈夫かなあ?」などの変化を感じた場合、援助を要する方々に一番身近な皆様による問題を早期発見し解決に努めます。

最近では、問題も多様化し、地域の皆様と専門機関などの関係者と一体となつて取り組む必要があります。地域住民、関係機関、社会福祉協議会等で「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目指し、皆様のご協力をお願いします。

## ◆◆◆具体的な見守り・支援の内容◆◆◆

### 声掛け

近所で会った時など、「お元気ですか?」、「何か変わったことはありませんか?」等と声掛けを行い、状況の変化を確認します。

### 見守り

ご自宅への訪問や郵便受けがいっぱいになっていないか、夜に家の電気がついていないか等の間接的な見守りを行います。

変化がある場合

生活状況の把握

変化がある場合

生活状況や身体の変化を、町内会長・分館長・民生児童委員・社会福祉協議会へ情報提供します。

地域の皆様と問題について考え、対応していきます。

## こんなことがあったら、社会福祉協議会へ情報提供をお願いします!!

- 新たに一人暮らし等になられた方の情報
- 災害時の被害状況と援助を要する方の安否
- 援助を要する方の緊急時の連絡先に関する情報
- 病院への入退院、施設への入退所、町外への転出、死去

## 地域での関係づくりや見守り・支援活動の充実のため、交流会活動・除雪活動を助成しています

### レクリエーション 関係物品の貸出し

ほのぼのの交流会活動で、使用する遊具等の貸出ししております。

- ミニボーリング
- 輪投げ
- グラウンド・ゴルフ
- スカットボール
- ピンゴゲーム

(ピンゴのカードは準備していただく必要があります)

ご希望の場合は、事前予約と申請書の提出が必要ですので、まずはご連絡ください。



### ほのぼのの交流会活動

地域での見守り・支えあい活動を充実させていくためのきっかけ作りとして、要援護者との交流会活動を実施している町内会・分館があります。

交流会では、軽スポーツや体操、昔遊び、創作活動、会食等を通し交流を行います。中には、近場へ旅行に行ったり、将来を担う子どもとの繋がりを意識した進んだ取り組みを行っている地域もあります。まずは、顔見知りになること、皆で一緒に楽しむことで支援の輪が広がり、お互いに声を掛け易くなります。参加者の皆さんはとても楽しんでるようで、笑顔があふれ、地域での関係づくりに影響しているようです。



健康づくりに体操を行っています



支え合いの除雪を行います

※ 屋根の雪下ろしは、行いません。

### ほのぼのの除雪活動

七戸町の冬に、雪は切り離せないもので、除雪作業は、大変な労力を要します。そうした中、日常生活に援助を要する方々は、その対応に非常に苦慮されており、毎シーズン多くの方から、相談が寄せられております。基本的には、ご家族・ご親戚等での除雪、シルバー人材センター、業者を紹介させていただいてありますが、対応が難しい場合、ほのぼののネットワーク活動を実施している町内会・分館の、見守り活動の中で、除雪の対応をお願いしております。雪の多い地域では、除雪機・トラクターを使用した活動も行われています。

お問合せ先 0176-62-6790 へ お気軽にお問合せください



# 地域の力 地域福祉活動報告 支えあい

## 子ども福祉体験スクール2017

7月25日(火)・26日(水)の2日間にわたり、子ども福祉体験スクールを開催しました。県視覚障害者情報センターや盲導犬とユーザーのご協力により「視覚障がい」をテーマに開催し、小学生・中学生・高校生12名が参加しました。1日目の県視覚障害者情報センターでは、視覚障がいについての講義の後、障がいを支えるグッズや、点字図書の作成の過程の見学、点字の体験などを行いました。2日目は、盲導犬ユーザーからお話を聞き、「手引き」と言われる誘導方法を体験しました。盲導犬になるまでの過程や、社会の盲導犬の受入の実際について学ぶことができました。子どもたちは、盲導犬やグッズにより、思った以上にできることが多いことに驚き、その中で、できることは何か考えるきっかけになったと感想を述べていました。



「手引き」は思うように誘導できませんでした

## 七戸建築連組合「住宅感謝デー」

10月29日(日)、イベント広場において、七戸建築連組合主催の「住宅感謝デー」が開催されました。組合員の方14名のボランティアによる包丁などの刃物研ぎや、まな板の削り直し、まな板販売が行われました。今回は、雨が降る悪天候の中、83名の方がご来場くださいました。「毎年、この機会を待っている」という声があったり、七戸町外から、研いでもらいに来ているという方もいらつしやいました。組合員の皆さんは、寒い中でも毎年、張り切って取り組んでいたにありがとうございます。住宅感謝デーの益金の一部は、本会へご寄付いただいております。ご来場いただいた皆さん、七戸建築連組合の皆さん、本当にありがとうございました。



雨が降る中の活動になりました

## 福祉安心電話サービス関係研修会

11月20日(月)、七戸中央公民館において、平成29年度福祉安心電話サービス関係者研修会を開催いたしました。福祉安心電話サービスは一人暮らし高齢者の方などが、体調の急変時などに専用端末機で通報し、地域住民のボランティアの協力員により、救急車を呼ぶなどの対応をする支え合いのサービスです。研修会へは、協力員、民生委員44名がご参加くださり、サービスの説明の後、中部上北広域事業組合 中央消防署の署員による「いざという時のための救急法、応急手当」と題し、講習を行いました。不安だが、協力員としてできることをしたいという声や、定期的に実施して欲しいという声がありました。



心肺蘇生法・AED使用の様子

## 収集ボランティア プルタブの寄贈ありがとうございました

田村力一さん(上屋田)は、地域の環境美化活動を行いながら空き缶を集めており、11月30日(木)、5年かけてためたドラム缶いっぱい(72kg)を寄贈してくださいました。田村さんは、平成23年11月にもプルタブを68kgを寄贈くださっており、「集まりがあると、空き缶を分けて貰い、プルタブを集めていきます」と笑顔で話してくださいました。また、ゆうずらんどに来るお客様も、プルタブやペットボトルのキャップをこまめに届けて下さっています。いただいたプルタブは、本会の地域福祉事業へ充てさせていただきます。ありがとうございました。



ドラム缶いっぱいのプルタブ

## 向町町内会 雑巾の寄贈ありがとうございました

12月11日(月)、向町町内会 山本順治会長とほのぼの交流協力員 小館たまさんが、城南小学校を訪れ、雑巾250枚を寄贈しました。同町内会では、地域の要援護者との「ほのぼの交流会活動」で町内の学校へ寄贈するための雑巾づくりを行っています。山本会長は、「今回は、他の町内からも応援に来てくれて、寄贈することができました。これからも地域の役に立てる活動を続けていきたい」と話し、城南小学校 総務委員長 小田沙弥加さん、かさん、同副委員長 三上珀詠(はくえい)くんは雑巾を渡しました。



学校を綺麗にしてくださいね

**皆様からの善意のご寄付大切にさせていただきます**

次の方々から、心温まるご寄付をいただきました。皆様の善意を大切に地域福祉の推進のため、活用させていただきます。

11月30日 天間林押し花愛好会 様                      12月5日 玉 勝 温 泉 様  
 12月11日 七戸町赤十字奉仕団七戸分団 様                      (東北町)

**急募!!在宅サービスに従事する正職員を募集しています**

**高齢者・障害者を支える介護職員として、私たちと一緒に働きませんか？**

募集人員	2名	募集受付期間	平成30年1月31日まで		
基本給 必要資格	①無資格・介護職員初任者研修修了(旧ヘルパー2級) 月給130,000円～ ②介護福祉士 月給140,000円～ ③介護支援専門員 月給160,000円～ ※無資格の方については、本会独自の奨学金制度として介護職員初任者研修受講料の貸与制度を利用し(条件により返済不要)、介護職員初任者研修を受講していただきます。研修中も給与を支給します。				
昇給	年1回	賞与	年2.7ヶ月	通勤手当	最大月10,000円
退職金	有り ※支給例：基本給140,000円スタート15年勤務で約300万円支給				
業務内容	在宅高齢者及び障害者の訪問介護業務 ※女性求人(均等法適用除外 入浴介助あり)				
勤務時間	午前8時～午後5時 ※その他シフト制により早出、遅出があります。夜勤はありません。				
有給休暇	①年次有給休暇 10～20日(毎年付与) ※残日数は次年度に繰越します(上限20日) ②結婚休暇5日                      ③服喪休暇 最大10日				
提出書類	履歴書・資格証明書の写し	採用試験	後日連絡します ※ゆうずらんど内七戸町社会福祉協議会で面接を行います。		
問合せ先	電話 0176-62-6790 担当：西野				

※時給制によるパート職員も随時募集しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

【編集】  
広報  
委員会

副委員長 藤賀慶二  
 委員長 横手幸年  
 委員 川村リチエ  
 委員 向中野幸八

自立に向けた相談窓口のご案内

**あなたの生活の「不安」や「心配」ひとりで悩まずご相談ください**

相談員がどのような支援が必要か一緒に考え、自立に向けて寄り添いながらお手伝いします

「長い間働いてないけど親も高齢。なにかしたいけどどうすればいいかわからない」

「仕事がなかなか決まらない」、「仕事が長続きしない」

「うちの息子ずっと働かないで家にいる。将来どうしよう」

「高齢だけど働いて収入を得たい」、「社会参加してなにかの役に立ちたい」

さまざまな心配ごとで生活に困っている方は、どなたでもご相談ください。

**上北地域自立相談窓口** (対象地域：野辺地町・七戸町・六戸町・横浜町・東北町・六ヶ所村)  
 上北郡七戸町字立野頭139-1 七戸町総合福祉センター「ゆうずらんど」内 七戸町社会福祉協議会

**☎ 0176-62-6790**

総合相談窓口フリーダイヤル (青森県社会福祉協議会) 相談無料・通話料無料

**0800-800-7114**

※本誌は、皆様からの社協会費により作成しています

2017年も皆様のご理解とご協力によりまして、活動することが出来ました。  
 ご紹介した事業は、皆様からの社協会費や寄付金により実施させていただいております。